

福祉委員委嘱状交付式及び研修会を行いました



福井市社会福祉協議会吉田会長から代表して委嘱状を受ける河合地区の北川千恵さん



平成30年4月14日、福井市民福祉会館小ホールで福祉委員委嘱状交付式及び研修会を開催しました。委嘱状交付式に引き続き、三部構成の研修会を行いました。

第一部は市社協職員から「福祉委員の役割」について、活動を行う上でのポイントや注意すべき点について説明がありました。

第二部は榎ヶア・フレんズの松塚泰孝氏から、「福祉委員活動のヒント」と題してご指導いただきました。その中で、地域の人と関わる際には、自分の価値観ではなく、相手の価値観を尊重した「まくしもの



地区社協連絡協議会 総会

平成30年4月20日、福井市民福祉会館小ホールで平成30年度の総会を開催しました。事業報告のあと、任期満了による役員改選がおこなわれ、会長及び監事の選出がされました。引き続き第1回理事会が開催され、新役員が決定しました。新しい役員の方々は、4ページの名簿のとおりです。

総会後、地区社協活動説明会がありました。市社協の補助金の説明や、第3次地域福祉活動計画の中で今年度実施予定の事業について説明がありました。

地区社協の活動と取り組みを順番に紹介します

鶺鴒地区

地域の方々との繋がりを大切に

鶺鴒地区社協は、福井市の北西部の川西地区に位置し、自然の豊かな平野にあります。

当社協の活動としては、食事サービス、敬老会、ステイックリング等のレクリエーション、地区の夏祭りへの協力、そして鶺鴒公民館文化祭における「ふれあい福祉まつり」を実施しています。

食事サービスにおいては、保健衛



生推進員を中心に民生児童委員も協力し、地元産の食材を使った料理に心掛け、味付けも食材を活かすように工夫しており、食事をされる方々に非常に喜ばれています。五月一日のメニューは、たけのこごはん、やき魚、高野豆腐、シイタケ・人参・ふきの炊き合わせ、折菜となめ草の和え物、糸コン・しめじ・ネギ・稚エビの炒め煮、そしてデザートのごちそうでした。

敬老会は毎年百名以上の方々に参加いただき、楽しく開催しています。

特に、鶺鴒公民館文化祭の時の「ふれあい福祉まつり」においては、地域内にある高齢者施設と協力し、予防、介護等の相談を行い、高齢化社会のニーズに合った対応が出来ると思っています。

当社協では、今後も地域の皆さんとの交流を楽しみに活動していきたくと思っています。

鶺鴒地区社会福祉協議会
会長 清川清治

円山地区

マップづくりから支え合いの輪へ



支え合いマスコットキャラクター「まるちゃん」
円山の円をモチーフに、手で輪をつくり、人の輪、心の輪、支え合いの輪を表しています

円山地区社協では、数年前から「高齢者の孤立や日常生活の不安を軽くし、安全で安心して暮らせる住みよい地区」をめざして支え合い活動を推進しています。

支え合い活動は、近隣の住民同士の支え合いを基盤にした活動であることから、地区社協が推進母体となり、自治会を中心に福祉委員、民生児童委員が連携協力して、活動しています。将来的には、住民の一人ひとりが「自分にもできることがある」という思いで支え合いを実践してもらえることを願っています。

毎年四月、公民館を会場に自治会役員、福祉委員、民生児童委員が一堂に会して、「支え合いマップ」づくりの研修会を実施しています。この研修会を受けて、六月の地区防災訓練前に各単位自治会（二十四自治会、四七〜二四九世帯）において、ご近所の方を加えて「支え合いマップ

づくり」を実施しています。一人暮らしや二人暮らし高齢者等を「気がかりな人」として、重点的に訪問、目配り、気配りという方法で見守っています。また、「気がかりな人」の「困りごと」の解決にも努めています。

住民の更なる理解と協力が得られるよう、リーフレット、チラシ、ポスター、缶バッジづくりなど工夫しています。昨年、写真のような円山地区支え合いマスコットキャラクター「まるちゃん」が誕生しました。これは、地区住民から図案と名前を募集したもので、広報紙の福祉だより、封筒、チラシ、回覧板に貼るなど大いに活用しています。本年度は、六月を「支え合い強化月間」に定め、各戸配布のチラシやポスターを作製しました。

このような活動により、自主的に夜の見回りをする人、高齢者宅を訪問し、話し相手をする人、大雪の時に訪問して温かいおそばを作ってあげた人、屋根雪おろし、雪のけをした人などのうれしい事例が聞かれました。

円山地区社会福祉協議会